

V 化学 以下の3問（V-1, V-2, V-3）において、任意の2問を選び解答せよ。

問題V-1（選択）石灰石（calcite, CaCO_3 ）の水への溶解反応について、次の間に答えよ。

問1 酸性水溶液に石灰石のかけらを入れたところ、泡が発生して石灰石が溶解した。この時の化学反応式を記せ。

問2 弱アルカリ性の水溶液においては、溶存炭酸の化学種は HCO_3^- が卓越しているとすると、石灰石の溶解の化学反応式はどのようになるかを記せ。

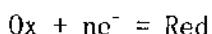
問3 問2の反応の平衡定数 K はどのように表わされるか。ただし、それぞれの物質のモル濃度 (mol/l) を $[]$ で、ガス x についてはその分圧 P_x で表わすこととする。また、このガスの分圧が上昇すると、反応はどちら側にずれることになるか。

問4 ここで、各物質の標準生成自由エネルギー ΔG_f° (kJ/mol) が以下のように与えられている。これを用いて、問1, 2の反応の 25°C, 1 気圧における自由エネルギー変化 ΔG° をそれぞれ計算せよ。計算の途中経過も示せ。

ΔG_f° (kJ/mol) : CaCO_3 (-1129), H^+ (0), Ca^{2+} (-553), H_2O (-237), CO_2 (-394), HCO_3^- (-587)

問5 問1, 2の反応式とともに、地球温暖化問題における石灰石の役割を考え、100字程度で記述せよ。

問題V-2 (選択) 酸化還元反応は一般に次のように表される。



Ox はより酸化された状態で、Red はより還元された状態の物質を表す。この反応の酸化還元電位(標準水素電極電位に対する電位)を Eh とよび、次のように定義される。

$$Eh = E_0 - (RT/nF) \log [Red]/[Ox]$$

$$(R: ガス定数, T: 絶対温度, n: 電子のモル数, F: フラデー定数) \\ = E_0 - (0.059/n) \log [Red]/[Ox] \quad (25^\circ C, 1 \text{ 気圧}).$$

また水素イオン活動度(ここではモル濃度と等しいとしておく)を $[H^+]$ で表すとき、

$$pH = -\log [H^+]$$

と定義されている。ここで、次の間に答えよ。

問1 海水や河川水等の天然水においては、次のような反応式(1), (2)が水の安定範囲を規定している。



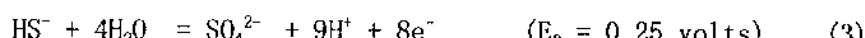
小問1-1 反応式(1), (2)から、これらの反応式での pH と Eh の関係を表す式2つをそれぞれ導け。計算の過程も示せ。

小問1-2 横軸に pH を、縦軸に Eh をとったグラフ上で、上記の2つの関係式はどのような曲線又は直線となるか、概略を図示せよ。

ただし水の安定領域の上限は $P_{O_2} = 1$ 、下限は $P_{H_2} = 1$ とする。

問2 天然水中の硫黄の化学形態は pH, Eh 条件によって様々に変化する。そこで、次のような式(3)をもとにし、小問1-2で描いた pH-Eh 図上に、硫黄の溶存化学種2つの安定領域の概略を示せ。

ただし、2つの溶存種の濃度が等しいところで境界線を引くものとする。

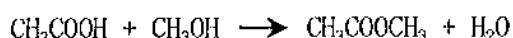


問題V-3 (選択) 以下の問1～問4より3問を選んで解答せよ.

問1 次の化合物の構造式を書きなさい.

- (1) 3,4-dimethyl-3-ethylhexane (2) 2,3,6-trimethylheptane
(3) 1,2-dimethylphenanthrene

問2 酢酸とメチルアルコールが反応すると以下のように水とエステルができる.



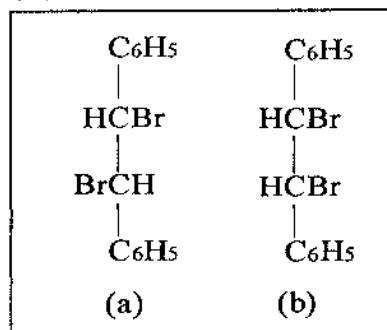
生成した水の酸素は酢酸とメチルアルコールのどちらの酸素が用いられているか答えよ.
また、それを確かめる方法について50字程度で答えよ.

問3 次の炭化水素に1モルの臭素を付加したときにできる化合物の構造式を書きなさい.

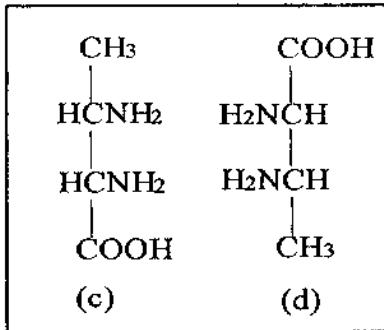


問4 次の(A)～(C)はそれぞれ一对の異性体を示したものである. 以下の小問4-1から小問4-4に答えよ.

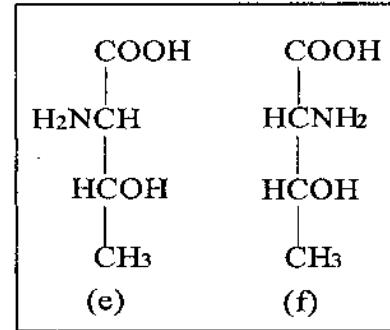
(A)



(B)



(C)



小問4-1 鏡像異性体の組み合わせは(A)～(C)のうちどれか答えよ.

小問4-2 互いにエピマーであるものは(A)～(C)のうちどれか答えよ.

小問4-3 構造異性体は(A)～(C)のうちどれか答えよ.

小問4-4 (a)～(f)のうち光学活性な化合物はどれかすべて答えよ.